

株式会社千葉銀行 御中

「ちばぎん研究開発助成制度」申込書

〈申請者〉

住 所

企 業 名

代 表 者



(役職名・氏名)

上記助成金の交付を受けたく、以下の関係書類を添えて申請します。

提出書類(番号に○印をお付け下さい)

1. 「ちばぎん研究開発助成制度」申込書
2. 会社案内
3. 主要製品のカタログ
4. プロジェクトの具体的資料—特許関連資料、写真・図など ※該当がない場合は不要
5. 直近2期分の決算書（科目明細書含）の写し
6. 履歴事項全部証明書及び定款の各写し ※個人の場合は不要
7. 『1. 「ちばぎん研究開発助成制度」申込書』を記録した電子媒体（CD-RまたはDVD）
※『2. 会社案内』、『3. 主要製品のカタログ』、『4. プロジェクトの具体的資料』も可能であれば、電子媒体（CD-RまたはDVD）に記録して下さい。

注意事項

- ・「ちばぎん研究開発助成制度」のお申込みにあたっては、本助成制度「募集要項」の内容をご了承いただいたものとしてお取り扱いいたします。

1. 申請内容の概要

研究開発 テーマ		
研究開発の要約	目的及び内容	
	大学等	1. 千葉大学 2. 千葉工業大学 3. 木更津工業高等専門学校
	研究先 学部	
	研究者	
	研究種別	1. 共同研究契約 2. 受託研究契約 3. その他 ()
	契約状況	1. 契約締結済 2. 契約締結予定 (月頃)
	研究費 (予定)	千円 ※5. プロジェクトの概要 (5)【大学】合計 (A+B) の金額と一致することをご確認ください。
研究開始 (予定)	201●年 月	
研究完了 (予定)	201●年 月	

※該当する項目のいずれかに○をつけて下さい。

2. 申請者の概要

企 業 名					
住 所	〒				
代 表 者 名 (生年月日)		設 立	年 月	資 本 金	百万円
プロジェクト担当責任者		従業員数	社員	名・パート	名
電 話 番 号		メールアドレス			

株 主 構 成	氏 名	関 係	比率(%)	氏 名	関 係	比率(%)

事業内容							
売 上 構 成	製(商)品名					比率(%)	
製(商)品サービスの特 徴							
主 要 販 売 先	企 業 名	製(商)品名	比率(%)	主 要 仕 入 先	企 業 名	製(商)品名	比率(%)

過去3年間の財務データ

(単位：千円)

	201●年 月期	201●年 月期	201●年 月期
売上高			
経常利益			
当期利益			
純資産			
総資産			

※3年間の財務データがない場合は直近の財務データのみで可。

金融機関取引

(単位：千円)

金融機関名	201●年 月期		201●年 月期		201●年 月期	
	預金	借入金	預金	借入金	預金	借入金
合計						

※上記財務データに対応する時点での金融機関取引をご記入下さい。

3. 代表者の経歴

(ふりがな)	
氏名	
生年月日	
住所	〒
電話番号	
経歴(学歴、職歴、研究実績、賞罰等)	

4. 予定研究実施機関の概略

(1) 予定研究実施機関の概略

機 関 名	(1) 千葉大学 (2) 千葉工業大学 (3) 木更津工業高等専門学校
学 部 名	
契 約 窓 口	
そ の 他	

(2) 予定研究実施機関の研究代表者の経歴

(ふりがな) 氏 名	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)
所 属 ・ 役 職 名	
研 究 経 歴	
当 該 研 究 に 関 連 す る 論 文 研 究 発 表 等	
そ の 他	

5. プロジェクトの概要

※記載スペースが不足する場合は、適宜枠を広げて使用して下さい。ページ数が増えても結構です。

(1) プロジェクトの概要

研究開発 テ ー マ	
概 要	

(2) 申請者の研究開発のニーズ（開発のきっかけ・背景）

--

(3) 活用する大学の研究成果（シーズ）・知見

--

(4) 研究開発の体制（申請者および大学等の研究者）

研究者氏名	年齢	研究分担	所属名	所属部署・役職	所在地
(研究代表)					

※研究代表は申請者の研究者をご記載下さい。

(5) 研究等の負担金算定内訳書

【申請者】

項目	金額（千円）	算定根拠
①設備費		
実験設備費		
その他		
②試作費		
調査費		
設計費		
原材料費		
消耗品費等		
③臨時労務費		
④その他経費		
合計（①+②+③+④）		

【大学】

項目	金額（千円）	算定根拠
A. 直接経費		
備品費		
消耗品費		
旅費交通費		
人件費		
通信運搬費等		
B. 間接費		A. 直接経費×10～30%（大学にご確認下さい）
合計（A+B）=C※		

※助成金は研究費（=C）の4/5までになります（上限1百万円）。

※申請書1ページの「1. 申請内容の概要」の研究費と一致することをご確認ください。

6. プロジェクトの技術・製品・サービスについて

※プロジェクトの技術・製品・サービスについて、写真や図表を用いてわかりやすくご説明下さい。

※専門用語を使用する場合は、説明を追加するか、(5)専門用語等の解説にご記入下さい。

(1) 新規性 (技術・製品・サービスの特徴)

--

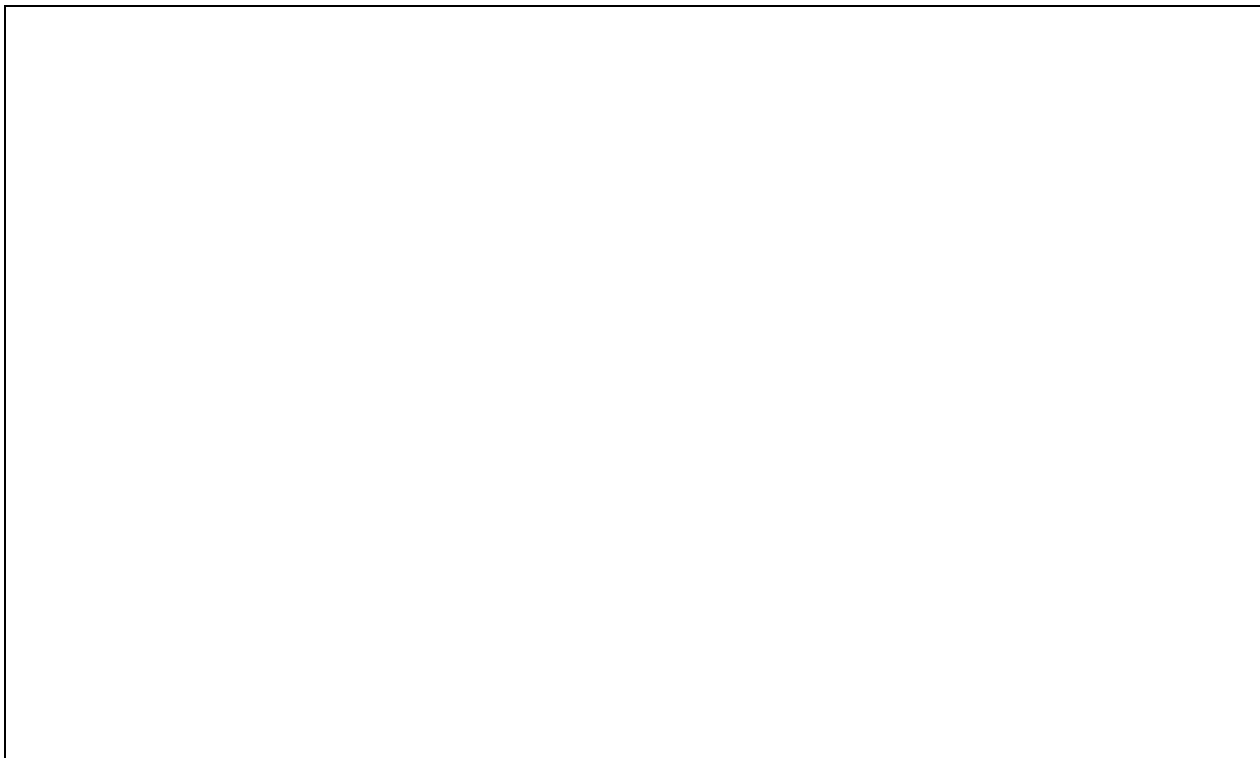
(2) 優位性 (従来技術・製品・サービスとの差別化要因)

--

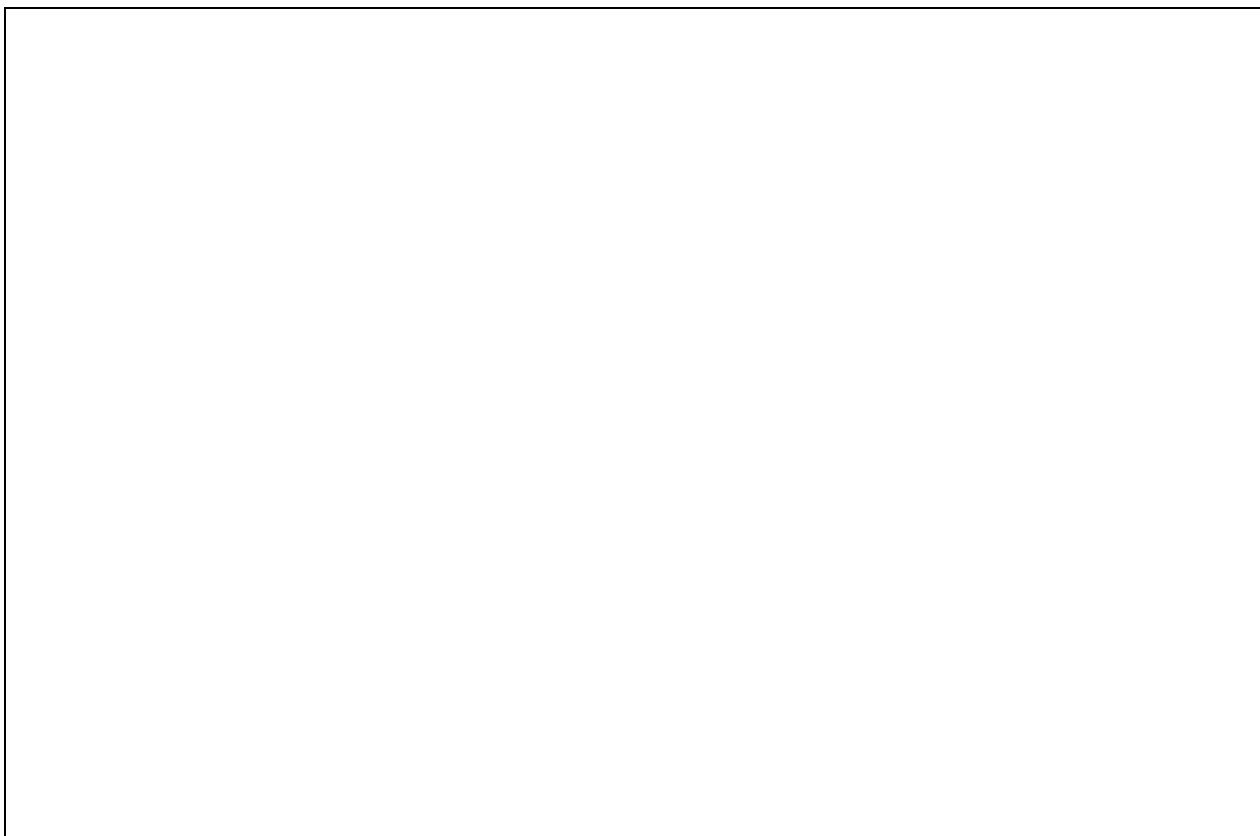
(3) 市場性 (対象市場・市場規模)

--

(4) プロジェクトの事業化の見通し（期待される効果等）



(5) 専門用語等の解説



7. 事業計画（今年度を含む3年度分をご記入下さい）

（単位：千円）

事業・商品別売上計画	2019年度	2020年度	2021年度
売上高合計			
税引後当期純利益			

※既存の事業がある場合は、既存事業を含めた全体の売上計画をご記入下さい。

売上高の根拠

2019年度
2020年度
2021年度

8. 資金計画（今年度を含む3年度分をご記入下さい）

（単位：千円）

	2019年度		2020年度		2021年度	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額
資金需要						
計						
資金調達						
計						

※各年度の資金需要と資金調達の合計は一致させて下さい。

説明

2019年度

資金需要
資金調達

2020年度

資金需要
資金調達

2021年度

資金需要
資金調達

